

1 教員養成の目標

日本工業大学は、「建学の精神」「日本工業大学の理念」「日本工業大学の教育目標」「実工学の学び」を掲げ実践力のある人材養成に努めています。教員養成においても、これら理念・目標に基づき、高い専門力と豊かな人間力を兼ね備えた、実践的な教員力をもつチーム学校を率いる教員を育成します。

（1）養成する教員像

「実学の精神を重んじ、教育における実践的な技術を未来に伝えていく教員（人材）を育てる。」（学生便覧より）

（2）建学の精神

- ① 真理の探究に努めるとともに、工学理論を現場の技術に直結しうる能力を持つ高級科学技術者を育成する。
- ② 実習、製図など工業高等学校卒業程度の技術的能力を備えた人材を集め、それら知識の延長においてさらに高度の技術教育を行う。
- ③ 世界各国の先進技術の摂取、発展途上国への技術伝播を行うとともにわが国工業技術の高度化に資しうる有為な人材を育成する。
- ④ 産学協同の理念に基づき、現実社会との連携を密にし、その発展に寄与する。
- ⑤ 単に技術教育に偏することなく、広い世界観と堅実な思想を持ち、建設的で実践的な社会人を育成する。

（3）日本工業大学の理念

日本工業大学は、次の5つの理念をもって教育・研究・社会貢献に努力します。

- ① 工学・技術の深化と普及
- ② 技術教育の理想追求と実践
- ③ 実践的技術創造人材の育成
- ④ 国際交流・産学連携の推進
- ⑤ 環境・共生社会への貢献

（4）日本工業大学の教育目標

- ① 工学理論を積極的に現実社会に活用しうる創造的技術能力を持った人材を育成します。
- ② 科学技術を愛し、その実体験豊富な人材に対し、その経験を生かした技術教育を行い、

高度な技術能力を持った人材を育成します。

- ③ 広く世界の人々と交流し相互理解を深め、工学技術を通じて地球共生社会に貢献する人材を育成します。
- ④ 産業社会と工学教育の連携を密にし、広い実務的能力を持った実践的な人材を育成します。
- ⑤ 豊かな工学知識と広い教養を修め、真理を愛し健全な思想を持つ建設的な社会人を育成します。

(5) 実工学の学び

- ① 現実社会に役に立つことを目標に学ぶ工学
- ② 実際の技術に触れることによって学ぶ工学
- ③ 自ら実践することによって学ぶ工学
- ④ 理論を実現化するために学ぶ工学
- ⑤ 実感（感性）となるまで継続して学ぶ工学

2 目標達成のための教員養成計画

教員としての基本的な知識を学ぶとともに、自ら課題を発見して解決する姿勢を身に付ける。

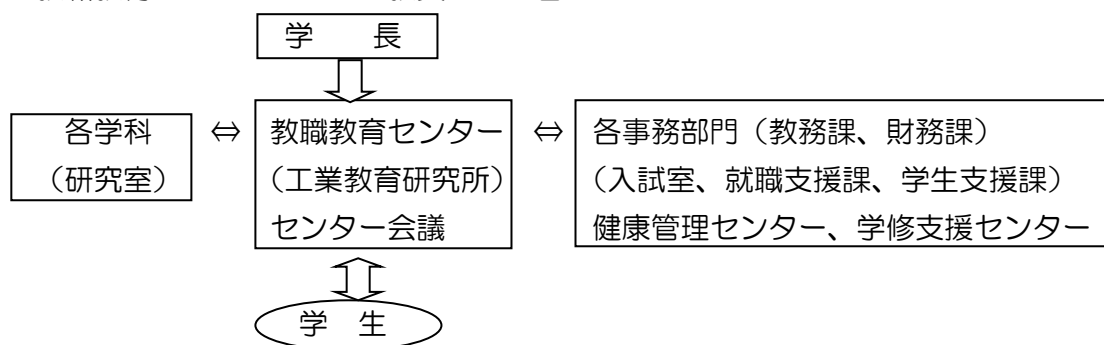
- (1) 指導計画……教職コアカリキュラムを踏まえ、学校現場のニーズに対応した教育内容を学ぶ。教育要領・学習指導要領の内容を理解しているか。
- (2) 授業・指導の実践……授業等の目標と指導の展開を踏まえ、学習指導案を書くことができる。
- (3) 授業改善……授業の展開に応じた、教材・教具、指導方法を理解している。
- (4) 学級経営……各発達段階における集団の特性及び学級経営に関する基本的な知識を持っている。生徒一人一人の実態把握の必要性を理解している。
- (5) 特別な配慮を必要とする生徒への配慮……障がいの特性や配慮事項等基本的な知識を持っている。
- (6) カウンセリング・教育相談……教育相談等の重要性や基本的な知識について理解している。
- (7) 生徒等の問題行動への対応……一人一人の生徒等を大切にする態度を持ち、組織としての対応の重要性について理解している。
- (8) 外部連携……学校・家庭・地域等との連携の重要性を理解している。
- (9) 運営参画……学年、校務分掌、委員会等の学校運営に必要な組織の役割について理解している。
- (10) 学校安全……学校安全の諸課題や重要性について理解している。

3 教員養成に係る学内組織および担当教員

(1) 学内組織

共通教育学群 教員 15名（専任・非常勤）

教職教育センター 教員 2名



(2) 業務内容

カリキュラム編成、履修指導、教職課程相談、教育実習・介護等体験指導
教員免許状一括申請事務手続き、教職課程授業、教員採用試験対策、採用情報

(3) 担当教員

① 専任

教職教育センター長	渡辺勉	(工業教育研究所長兼担)
工業教育研究所	加藤秀次	(高大連携プロジェクト室長)
学修支援センター長	岩崎利信	
共通教育学群	小山将史	(教職教育センター兼担)
共通教育学群	瀧ヶ崎隆司	(教職教育センター兼担)
共通教育学群	黒羽正見	(教職教育センター兼担)
共通教育学群	本村猛能	(教職教育センター兼担)
共通教育学群	山口剛	(教職教育センター兼担)
共通教育学群	衛藤和文	

② 非常勤

新井誠	伊藤健司
大塚清	工藤雄司
田中卓也	當間喜久雄
長島佳久	松本くみ子
森山富治男	

4 2019年度教職開講科目及び科目担当者（敬称略）

教職論	（加藤秀、當間）
教育原理	（黒羽）
教育心理・青年心理Ⅰ	（山口剛）
教育心理・青年心理Ⅱ	（山口剛）
中学技術の教材開発	（工藤雄）
教育の方法と技術	（本村）
生徒指導論	（渡辺勉、川合、松本く）
カウンセリング	（松本く）
教育実習Ⅰ	（渡辺勉、加藤秀、黒羽）
教育実習Ⅱ	（渡辺勉、岩崎、加藤秀、山口剛）
教育実習Ⅲ	（瀧ヶ崎、本村、黒羽、小山将）
介護体験Ⅰ	（山口剛）
介護体験Ⅱ	（山口剛）
木材加工Ⅰ	（森山、長島佳）
木材加工Ⅱ	（那須）
栽培Ⅰ	（伊藤健）
栽培Ⅱ	（伊藤健）
職業指導	（長島佳）
教職実践演習（中・高）	（渡辺勉、加藤秀、黒羽、小山将）
金属加工Ⅰ	（森山、大塚）
機械実習	（森山、大塚）
技術科教育法Ⅰ	（本村）
技術科教育法Ⅱ	（本村）
技術科教育法Ⅲ	（本村）
工業科教育法	（加藤秀、當間）
教育制度論	（小山将、田中卓）
情報科教育法Ⅰ	（新井誠）
情報科教育法Ⅱ	（新井誠）
数学科教育法Ⅰ	（衛藤和）
数学科教育法Ⅱ	（衛藤和）
道徳教育の指導法	（瀧ヶ崎）
特別活動論	（黒羽）
教育課程論	（黒羽）
教員実技演習Ⅰ（自由科目）	（渡辺勉、加藤秀、小山）
教員実技演習Ⅱ（自由科目）	（渡辺勉、加藤秀、小山）

5 教員養成に携わる教員の経歴、専門、研究実績

大学 HP (ホームページ) ⇒ 大学概要 ⇒ 教員一覧 (専任)

6 教員養成に係るカリキュラム、シラバス等

大学 HP ⇒ 学部・大学院 ⇒ 教育の概要 ⇒ 授業計画(シラバス) ⇒ 日本工大サポータル
⇒ ゲストユーザー ⇒ シラバス検索

7 取得できる免許状一覧

2018 (平成30年度) 入学生以降の学生に適用

免許状の種類 学部・学科名		中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状
		技 術	数 学	工 業
基幹工学部	機械工学科	○	○	○
	電気電子通信工学科	○	○	○
	応用化学科			○
先進工学部	ロボティクス学科	○		○
	情報メディア工学科	○	○	○
建築学部	建築学科	○	○	○

2017 (平成29年度) 入学生以前の学生に適用

学 科	免許状	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状	
		技 術	数 学	工 業	情 報
機 械 工 学 科		○	○	○	
も の づ く り 環 境 学 科		○		○	
創 造 シ ス テ ム 工 学 科		○	○	○	
電 気 電 子 工 学 科		○	○	○	
情 報 工 学 科		○	○	○	○
建 築 学 科		○	○	○	
生 活 環 境 デ ザ イ ン 学 科		○		○	

8 教職課程予定表（概要）

1年	秋学期 履修登録案内（授業料等納付案内）
2年	春学期 履修登録手続き、課程授業料納入、保険加入 秋学期 介護等体験費等納入（中学免許取得希望者）
3年	春・秋学期 教育実習手続き・指導、教員採用試験対策（自由選択科目設定）
4年	春学期 教育実習事前・事後指導、教員採用試験直前対策 秋学期 教員免許状一括申請、学位記授与式当日教員免許状授与

9 教職課程履修に必要な費用（目安）（2019年度）

教職授業料(2年生徴収のみ)	10,000円	一免許状あたりの金額
介護等体験費用	7,500円～8,000円	体験地により相違あり
技術科教材費	約10,000円～ 15,000円程度	2年分 学科により相違あり
保険料	630円	3年分（財）日本国際教育支援協会付 帯賠償保険加入

※ その他麻疹抗体検査料 3,000円程度、介護等体験の施設によっては細菌検査料等 1,000円程度が必要となる場合があります。

10 学科別・専攻別教員免許取得状況

学科別教員免許取得状況(H30年度 H31.3.20卒業)学部生

学科名	一括申請者数	中学校1種		高等学校1種		学科・免許別合計
		数学	技術	工業	情報	
機械工学科	15	1	8	15	-	24
ものづくり環境学科	1	-	1	1	-	2
創造システム工学科	7	1	5	6	-	12
電気電子工学科	9	0	1	9	-	10
情報工学科	13	2	5	11	10	28
建築学科	7	1	6	7	-	14
生活環境デザイン学科	2	-	2	2	-	4
合計	54	5	28	51	10	94

専攻別教員免許取得状況(H30年度 H31.3.20修了)大学院

学科名	一括申請者数	中学校専修	高等学校専修		合計
		技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	0	0	-	0
機械システム工学専攻	3	1	3	-	4
電子情報メディア工学専攻	3	2	3	0	5
建築デザイン学専攻	2	0	2	-	2
合計	8	3	8	0	11

※埼玉県教育委員会一括申請者数

学科別教員免許取得状況(H29年度 H30.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	中学校 1 種		高等学校 1 種		学科・免許別合計
		数学	技術	工業	情報	
機械工学科	13	3	7	12	-	22
ものづくり環境学科	4	-	2	4	-	6
創造システム工学科	6	0	1	6	-	7
電気電子工学科	10	1	5	9	-	15
情報工学科	11	0	6	9	8	23
建築学科	10	0	4	10	-	14
生活環境デザイン学科	6	-	6	4	-	10
合計	60	4	31	54	8	97

専攻別教員免許取得状況(H29年度 H30.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	中学校専修	高等学校専修		合計
		技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	0	0	-	0
機械システム工学専攻	3	1	3	-	4
電子情報メディア工学専攻	4	2	3	1	6
建築デザイン学専攻	0	0	0	-	0
合計	7	3	6	1	10

※埼玉県教育委員会一括申請者数

学科別教員免許取得状況(H28年度 H29.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	中学校 1種		高等学校 1種		学科・免許別合計
		数学	技術	工業	情報	
機械工学科	13	0	3	12	-	15
ものづくり環境学科	3	-	0	3	-	3
創造システム工学科	13	0	6	12	-	18
電気電子工学科	20	1	8	16	-	25
情報工学科	24	2	2	23	20	47
建築学科	16	3	4	14	-	21
生活環境デザイン学科	5	-	1	5	-	6
合計	94	6	24	85	20	135

専攻別教員免許取得状況(H28年度 H29.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	中学校専修	高等学校専修		合計
		技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	0	0	-	0
機械システム工学専攻	1	0	1	-	1
電子情報メディア工学専攻	2	1	2	0	3
建築デザイン学専攻	0	0	0	-	0
合計	3	1	3	0	4

※埼玉県教育委員会一括申請者数

学科別教員免許取得状況(H27 年度 H28.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	中学校 1 種		高等学校 1 種		学科・免許別合計
		数学	技術	工業	情報	
機械工学科	21	0	7	21	-	28
ものづくり環境学科	7	-	2	7	-	9
創造システム工学科	11	0	1	11	-	12
電気電子工学科	22	3	4	22	-	29
情報工学科	16	3	12	12	7	34
建築学科	16	1	5	15	-	21
生活環境デザイン学科	4	-	0	4	-	4
合計	97	7	31	92	7	137

専攻別教員免許取得状況(H27 年度 H28.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	中学校専修	高等学校専修		合計
		技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	0	0	0	0
機械システム工学専攻	1	1	1	-	2
電子情報メディア工学専攻	2	1	2	0	3
建築デザイン学専攻	0	0	0	-	0
合計	3	2	3	0	5

※埼玉県教育委員会一括申請者数

学科別教員免許取得状況(H26 年度 H27.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	中学校 1 種		高等学校 1 種		合計
		数学	技術	工業	情報	
機械工学科	17	1	10	17	-	28
ものづくり環境学科	1	-	1	1	-	2
創造システム工学科	7	3	5	6	-	14
電気電子工学科	21	0	4	20	-	24
情報工学科	11	1	3	9	8	21
建築学科	20	1	6	19	-	26
生活環境デザイン学科	10	-	5	9	-	14
合計	87	6	34	81	8	129

専攻別教員免許取得状況(H26 年度H27.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	中学校専修	高等学校専修		合計
		技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	0	0	-	0
機械システム工学専攻	3	1	3	-	4
電子情報メディア工学専攻	2	1	1	0	2
建築デザイン学専攻	2	0	2	-	2
合計	7	2	6	0	8

※埼玉県教育委員会一括申請者数

1 1 学科別・専攻別教員就職者数

学科別教員就職者数(平成 30 年度 H31.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校 1 種		高等学校 1 種		合計
			数学	技術	工業	情報	
機械工学科	15	正	0	0	0	-	0
		他	0	1	1	-	2
ものづくり環境学科	1	正	-	0	0	-	0
		他	-	0	0	-	0
創造システム工学科	7	正	0	1	0	-	1
		他	0	1	0	-	1
電気電子工学科	9	正	0	0	0	-	0
		他	0	0	2	-	2
情報工学科	9	正	0	0	1	0	1
		他	0	0	1	2	3
建築学科	13	正	0	2	0	-	2
		他	0	0	0	-	0
生活環境デザイン学科	2	正	-	0	0	-	0
		他	-	0	1	-	1
合計	54	正	0	2	1	0	3
		他	0	2	5	2	9

専攻別教員就職者数(平成 30 年度 H31.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校専修	高等学校専修		合計
			技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
機械システム工学専攻	3	正	0	0	-	0
		他	0	1	-	1
電子情報メディア工学専攻	3	正	0	1	0	1
		他	0	0	0	0
建築デザイン学専攻	2	正	0	1	-	1
		他	0	1	-	0
合計	8	正	0	2	0	2
		他	0	2	0	2

学科別教員就職者数(平成 29 年度 H30.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校 1 種		高等学校 1 種		合計
			数学	技術	工業	情報	
機械工学科	13	正	0	0	0	-	0
		他	1	0	1	-	2
ものづくり環境学科	4	正	-	1	0	-	1
		他	-	0	0	-	0
創造システム工学科	6	正	0	0	0	-	0
		他	0	0	0	-	0
電気電子工学科	10	正	0	0	1	-	1
		他	0	0	1	-	1
情報工学科	11	正	0	1	1	0	2
		他	0	0	0	0	0
建築学科	10	正	0	1	0	-	1
		他	0	0	1	-	1
生活環境デザイン学科	6	正	-	0	0	-	0
		他	-	0	0	-	0
合計	60	正	0	3	2	-	5
		他	1	0	3	-	4

専攻別教員就職者数(平成 29 年度 H30.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校専修	高等学校専修		合計
			技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
機械システム工学専攻	3	正	0	0	-	0
		他	0	1	-	1
電子情報メディア工学専攻	4	正	0	0	0	0
		他	0	1	0	1
建築デザイン学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
合計	7	正	0	0	0	0
		他	0	2	0	2

※採用の区分 正・・・正規採用(教諭) 他・・・臨時的任用・非常勤・実習助手

学科別教員就職者数(平成 28 年度 H29.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校 1 種		高等学校 1 種		合計
			数学	技術	工業	情報	
機械工学科	13	正	0	1	1	-	2
		他	0	0	1	-	1
ものづくり環境学科	3	正	-	0	0	-	0
		他	-	0	0	-	0
創造システム工学科	13	正	0	0	1	-	1
		他	0	1	2	-	3
電気電子工学科	20	正	0	0	1	-	1
		他	0	0	1	-	1
情報工学科	24	正	0	1	0	0	1
		他	0	0	5	0	5
建築学科	16	正	0	0	0	-	0
		他	0	0	1	-	1
生活環境デザイン学科	5	正	-	0	0	-	0
		他	-	0	0	-	0
合計	94	正	0	3	3	-	6
		他	0	1	10	-	11

専攻別教員就職者数(平成 28 年度 H29.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	採用の区分	中学校専修	高等学校専修		合計
			技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
機械システム工学専攻	1	正	0	0	-	0
		他	0	1	-	1
電子情報メディア工学専攻	2	正	0	0	0	0
		他	0	0	0	0
建築デザイン学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
合計	3	正	0	0	0	0
		他	0	1	0	1

※採用の区分 正・・・正規採用(教諭) 他・・・臨時的任用・非常勤・実習助手

学科別教員就職者数(平成 27 年度 H28.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	採用の 区分	中学校 1 種		高等学校 1 種		合計
			数学	技術	工業	情報	
機械工学科	21	正	0	1	1	-	2
		他	0	1	2	-	3
ものづくり環境学科	7	正	-	0	0	-	0
		他	-	1	2	-	3
創造システム工学科	11	正	0	0	0	-	0
		他	0	0	1	-	1
電気電子工学科	22	正	0	1	1	-	2
		他	0	0	1	-	1
情報工学科	16	正	0	1	1	0	2
		他	0	1	2	0	3
建築学科	16	正	0	0	0	-	0
		他	0	2	6	-	8
生活環境デザイン学科	4	正	-	0	0	-	0
		他	-	0	0	-	0
合計	97	正	0	3	3	-	6
		他	0	5	14	-	19

専攻別教員就職者数(平成 27 年度 H28.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	採用の 区分	中学校専修	高等学校専修		合計
			技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
機械システム工学専攻	1	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
電子情報メディア工学専攻	2	正	0	0	0	0
		他	0	0	0	0
建築デザイン学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
合計	3	正	0	0	0	0
		他	0	0	0	0

※採用の区分 正・・・正規採用(教諭) 他・・・臨時的任用・非常勤・実習助手

学科別教員就職者数(平成 26 年度 H27.3.20 卒業)学部生

学科名	一括申請者数	採用の 区分	中学校 1 種		高等学校 1 種		合計
			数学	技術	工業	情報	
機械工学科	17	正	0	0	1	-	1
		他	0	1	0	-	1
ものづくり環境学科	1	正	-	0	0	-	0
		他	-	1	0	-	1
創造システム工学科	7	正	0	0	0	-	0
		他	1	0	1	-	2
電気電子工学科	21	正	0	0	1	-	1
		他	0	1	5	-	6
情報工学科	11	正	0	1	0	-	1
		他	1	1	1	1	4
建築学科	20	正	0	0	0	-	0
		他	0	1	1	-	2
生活環境デザイン学科	10	正	-	0	0	-	0
		他	-	1	0	-	1
合計	87	正	0	1	2	-	3
		他	2	6	8	1	17

専攻別教員就職者数(平成 26 年度 H27.3.20 修了)大学院

学科名	一括申請者数	採用の 区分	中学校専修	高等学校専修		合計
			技術	工業	情報	
環境共生システム学専攻	0	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
機械システム工学専攻	3	正	0	1	-	1
		他	0	0	-	0
電子情報メディア工学専攻	2	正	0	1	0	1
		他	0	0	0	0
建築デザイン学専攻	2	正	0	0	-	0
		他	0	0	-	0
合計	7	正	0	2	0	2
		他	0	0	0	0

※採用の区分 正・・・正規採用(教諭) 他・・・臨時的任用・非常勤・実習助手

12 都道府県別就職状況（2018年2月現在）

本学を卒業して、学校に就職をしている数は、合計 1,362名となっている。校種別では以下のとおりです。

現職教員都道府県別分布（全国各地で卒業生が活躍しています。）															小・中・高合計		1362名	
都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山		
小・中学校教員	0	5	1	8	0	3	8	28	14	6	173	30	108	7	15	0		
高等学校教員	8	39	25	9	16	31	37	99	62	36	177	44	110	12	24	4		
都道府県	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根		
小・中学校教員	1	0	4	3	1	9	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0		
高等学校教員	5	1	12	59	0	32	11	2	2	1	5	9	1	0	3	1		
都道府県	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計		
小・中学校教員	1	5	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	440		
高等学校教員	7	11	2	0	2	4	5	0	0	1	1	1	1	6	4	922		
(2018年2月現在)																		

13 大学教員（教職課程）に係わるFDの取組

- ① 教育実習の際、実習生への訪問指導。中学校・高等学校教員との情報交換。
- ② （公社）全国工業高等学校長協会および工業教育研究所との連携。夏季研修会の開催。
- ③ 都・県主催の教職課程設置校の説明会や介護等体験説明会。研究協議会への参加。
- ④ 関私教協、全私教協を中心とした各種関係学会・部会への参加。情報交換・収集。
- ⑤ 最新の書籍・雑誌購読およびインターネット利用による情報収集。
- ⑥ 教育指導方法の改善について内部研修（ICT化による指導方法や最新の教材開発）
- ⑦ 外部講師（県教委や現役校長等）による一部授業に導入。
- ⑧ 地元小・中学校、特別支援学校および関係機関との連携。
- ⑨ 研究や活動成果を学内外に発表（定期刊行物等）。

以上